

としょかん

図書館だより

内灘町立清湖小学校

令和7年5月27日

家族読書号

★前期図書委員からのあいさつ★

●図書委員長

委員長として、全校に本を好きになってもらおうようなイベントを作りたいです。

●図書館司書教諭

15人の図書委員会で今年度も楽しい図書館運営をしていきたいと思います。

●副委員長

みんなが本を好きになってもらって、貸出を増やしたいです。

●図書館司書



★オリジナル財布を作ろう★

清湖マネー（キヨ）を入れるお財布がもらえるイベントを5月23日まで開催していました。イベント終了後、財布は清湖マネーで買ることができます。イベントに参加しなかった人、壊れたりなくした人、他にも好きなデザインがあった人などは、清湖マネーのキヨを用意して浅田先生に声をかけてください。

★はたらく清湖ッ子★

清湖小学校は昨年度と今年度、金融経済教育の研究校です。図書館では、図書館まつりなどで清湖小学校のお金「清湖マネー（キヨ）」で買い物をする「お金を使う」実践体験します。今回のイベントでは、その清湖マネーを貯めながら、本をかりてスタンプラリーをすすめ、本で調べるクイズなどを通して、働くことやお金についての知識を身につけていけるイベントにしたいと考えています。

★清湖マネー（キヨ）で買える物★

図書館まつり以外でも、キヨで買い物ができます。



プラス さつ かし だし
+ 1 冊貸出 → 100 キヨ (かりる時にカウンターで払う)

プラス 一 けん
+ 1 券 (6枚) → 500 キヨ (浅田先生に声をかける)

くじびき (1回) → 300 キヨ (くじびきの図書委員に払う)

ぬりえ財布 → 300 キヨ (浅田先生に声をかける)

本カバー財布 → 500 キヨ (浅田先生に声をかける)

☆家族読書への取組 ありがとうございました☆

ゴールデンウィークには、家族読書に取り組んでいただき、ありがとうございました。

各学年の感想を紹介します

○は児童の感想、●は保護者の方の感想です。

1 年 生	本の題名「パンどろぼう」	
	○ねずみのましいがおもしろかった。ねずみがパンからにげるのがおもしろかった。おじさんのましいしょくばんがおもしろかった。パンどろぼうがねずみだからおもしろかった。	●子どもと一緒にパンどろぼうが「ましい」と言うところが大好きです。本当にましいんだなあという顔をしているからです。
2 年 生	本の題名「きゅうしょくのおはなし」	
	○ぼくは、みじたくできがえたり、手をあらうところがいいなと思いました。みんながせいけつにたべれるように、2かい手をあらうのが1ばんこころにのころました。	●お母さんはこの前、きゅうしょくセンターへ行くきかいがあり、どのようにしてきゅうしょくが出き上がるのか見てきました。本当に、きゅうしょくしつの方たちは目がいのところは、ぼうしやマスクにエプロンなどでおおわれており、はだやかみのけなど見えないようなふくそうで、手あらいもブラシなどをつかってていねいにあらったり、しょうどくをつかつたりして、つくっていました。みんなにあんしんあんぜんなものをつくるためにとてもせいけつに気をつけていることがよくわかる本でしたね！
3 年 生	本の題名「赤毛のアン」	
	○アンはいろんなことをしっぱいしているけど、すなおでがんばりやさんだから、べんきょうもがんばっていると書いてあって、それが心にのりました。わたしもアンを見ならっていきたいです。	●アンは自分の見た目や性格にコンプレックスを感じながらも、持ち前の前向きな明るい性格で周囲の人々を受け入れていく。個性を自分で受け入れることはとても大事なことです。アンは子どもながらにそれをすることはステキだと思いました。
4 年 生	本の題名「と・も・だ・ち」	
	○アンディがひっこして友達がつくれられなくて、アンディは水泳がすきだけど、友達は色々すきな事があるから、アンディはさいしょおこっていたけど、アンディはさいしょからやりなおしたくて、やりなおしたら友達がてきて自分もうれしくなりました。相手のありのままを大事に思ってあげるともっと仲がふかまると思いました。	●最初、この絵本を手にとったときに「あ、娘のことだ。」と思い一緒に読みました。先日の遠足の日に「〇〇くんと〇〇くんといろいろ話しながら歩いて、距離が縮まった感じがした。」と言っていました。去年、転校してきた娘は、まだまだみんなのいいところを見つけきれていないと思います。この絵本のようにクラスにもいろいろな子がいる事、みんな同じではない事、相手のありのままを受け止める事、同じ時間を過ごすクラスの仲間を大切にしてほしいと思いました。今、娘が楽しく学校に行けているのは、間違いなく4年生の仲間達のおかげだと思います。この絵本を読んで改めて友達の大切さに気づいてくれたらいいと思いました。
5 年 生	本の題名「プラスチックのうみ」	
	○海にプラスチックなどのゴミをすてたら、たいへんになることがよく分かりました。魚たちの命にも関係あり、プラスチックを食べたり、あみにからまつたり、のみこんだりしてしまって、ゴミなどをすてないように気をつけようと思いました。みんなで海をきれいにして、魚たちをすくいたいです。みんなにこの本を読んでもらいたいです。	●海にすてられたプラスチックは、自然の中で分解されず、ずっと海にたまっていくんだって。魚よりゴミのほうが多い海にならかならないね。あみがからみついて動きにくいアザラシ、まちがえて食べてしまうクジラやカメ、ゴミの中をおよぐ魚、見ているだけで心が痛くなりました。いろいろな生き物がくらす海。どんな生き物も気持ちよくすごせるように、自分達でできることを考えて、1つ1つ取り組んでいけたらいいね。
6 年 生	本の題名「グレダのねがい」	
	○グレダのねがいを読んで強く生きようとする人たちの気持ちに感動しました。グレダたちは自分の考えをもち、あきらめずに立ち向かっていて、とても勇気があると思います。わたしも何かあったときに自分で考えて行動できる人になりたいです。	●一時期はテレビで連日報道されていたグレダさんの行動。まだ幼さも残る少女のあの行動の原動力が知れて理解が進んだ気がします。1人では何も変わらない、でも1人でも声をあげないと変わっていくことはない。彼女の信念をつらぬいた行動は、間違なく世界の人々の環境へ意識を向けるきっかけになったと思います。

家族読書は、冬休みに本年度2回目を実施する予定です。

どんな本との出会いがあるか楽しみですね。

